

「藤野地区学校配置検討委員会」に関する 住民説明会開催報告

札幌市教育委員会生涯学習部学校規模適正化担当課

開催概要

開催日時

令和5年2月3日(金) 16時00分～20時00分
令和5年2月4日(土) 10時00分～16時00分

会場

藤野地区センター(札幌市南区藤野2条7丁目2-1)

来場者数

30人(2日間延べ)

開催内容

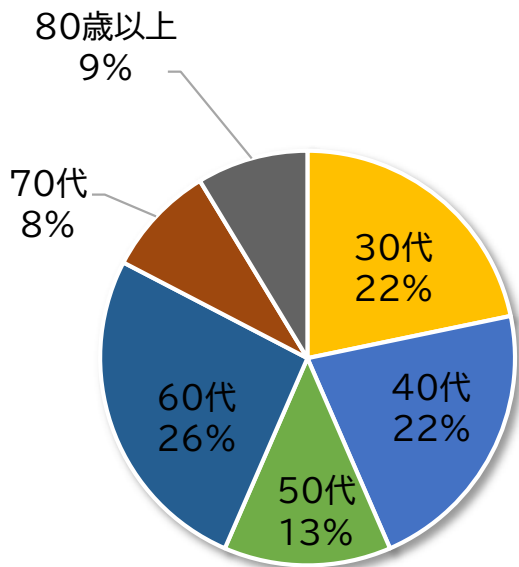
会場内にパネルを展示し、個別にご意見・ご質問をお伺いするオープンハウス型の住民説明会を開催しました。

会場の様子

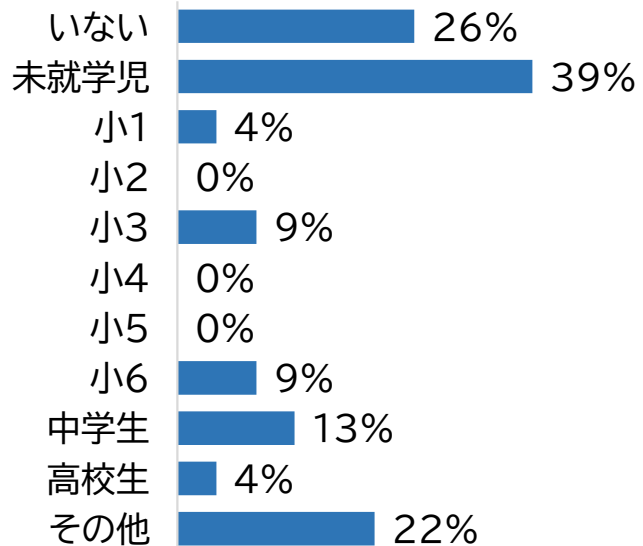


ご来場者アンケート集計結果

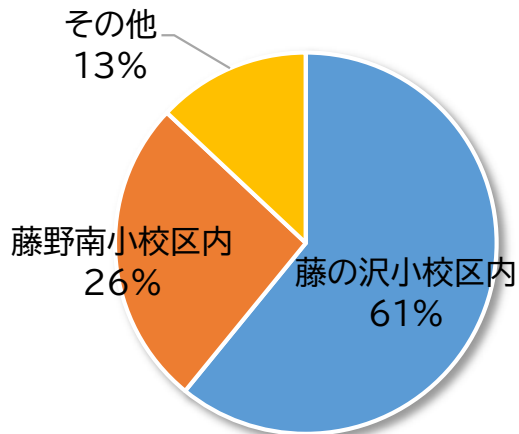
Q 年齢を教えてください



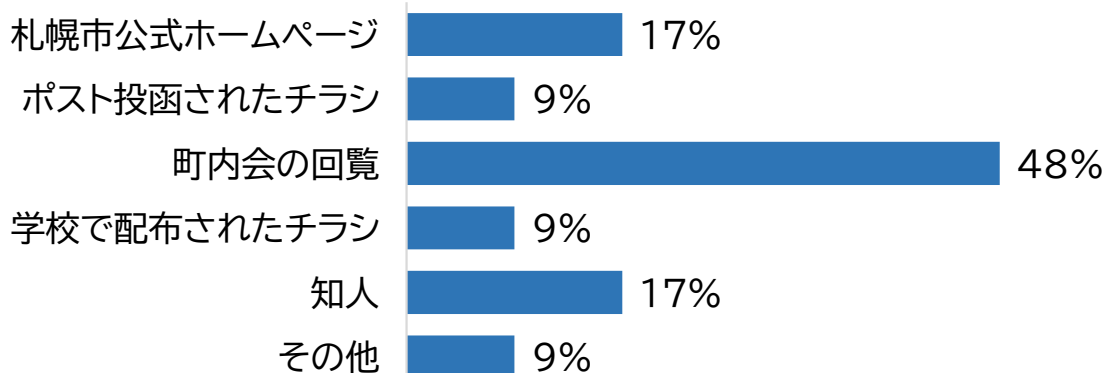
Q お子様の学年を教えてください
(複数回答可)



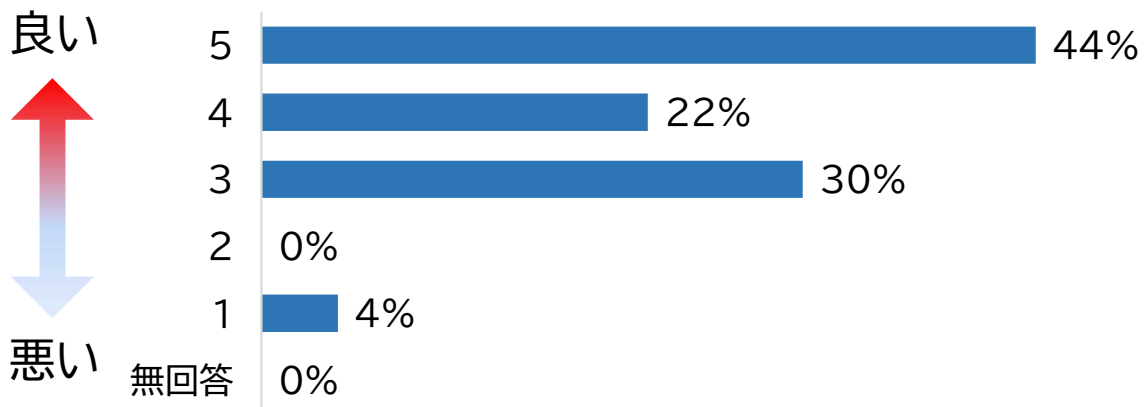
Q お住まいの地域を教えてください



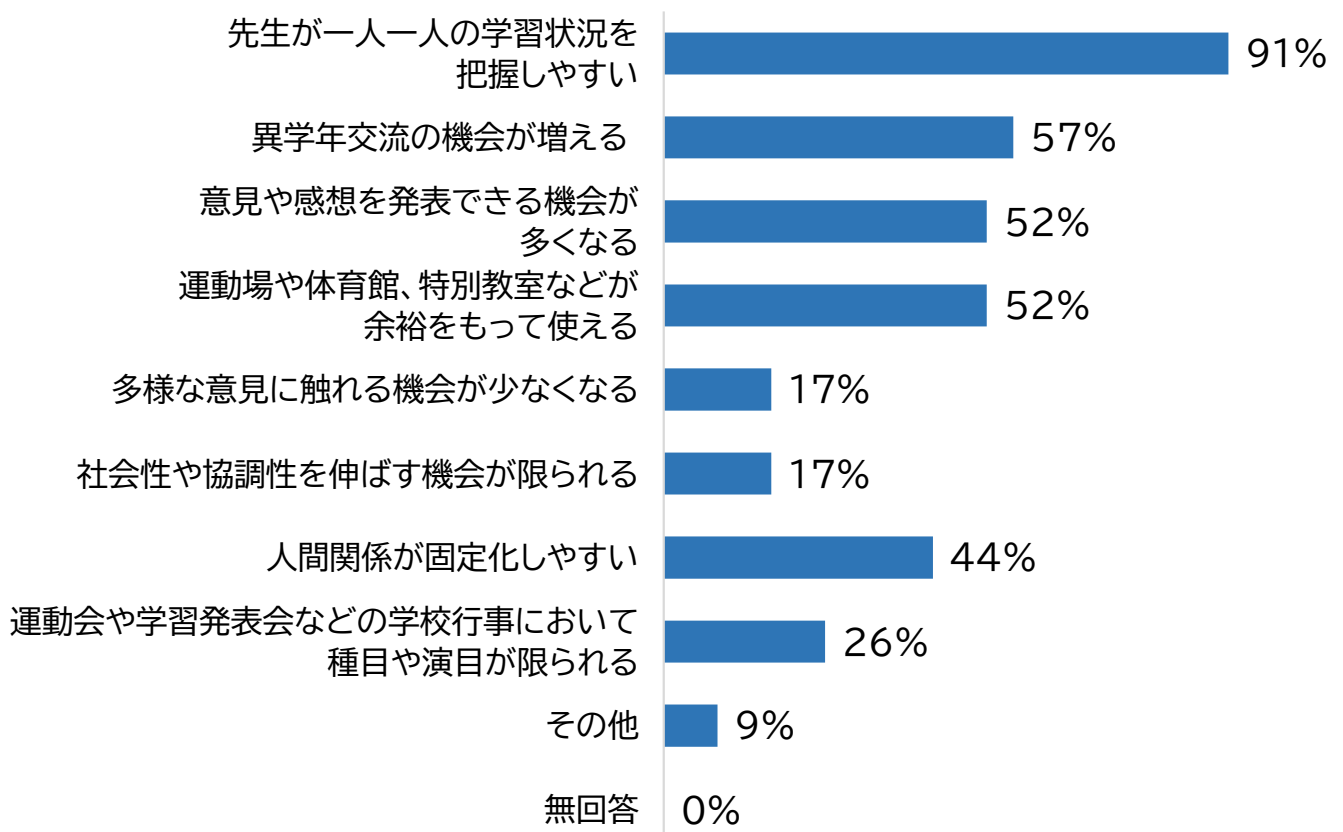
Q 今回の説明会を何で知りましたか(複数回答可)



Q 説明会の内容はどうか(5段階評価)



Q 小規模校にどのようなイメージがありますか(複数回答可)



学校の統合や今回の説明会の内容についていただいたご意見

- 将来的に統合される可能性があるのであれば、統合を検討しはじめた段階から、学校を選択できるようにしてほしい。
- 「検討委員会」の検討に住民の意見を反映するよう運営してほしい。
- 藤の沢小学校を守ってほしい！たくさんの歴史がある。
- 小学校低学年の子供達が、安全に通学できるよう、スクールバスの実施を切望します。
- 統合ありきで児童の通学の負担などを考えていない。少人数学級を採用して教員数も増やせば理想的な教育ができると思う。
- 児童にも多様な意見や経験にふれてほしいので、統合については前向きに検討していただきたい。
- 地区センターを会場としてパネルを用いた説明はわかりやすく、一同に会しての説明会とはまた違う形での開催は参加しやすいので、今後も続けていただきたい。
- 地域から学校が失われる事は反対です。
- 対象となる世帯には前もって、案段階でこまめに知らせてほしい。色々なうわさが飛び交っているので、きちんと方針を説明する機会をつくってほしい。
- 藤の沢小学区域について、三区は問題ないと思うが、第一・第二町内会の児童が中学校区との兼ね合いでどうなるか？230号線から北側の児童は、藤野小学校にした方が距離的に近いのではないかと思う。
- 小学校と中学校の校区を考えると、検討の必要がある。通学距離の問題がありそう。
- 子どもの様子を見守る中で、学校がなくなることは、地域にとってとてもさびしい。それでなくてもコロナの中で地域での(町内会での)運動会、おまつりなどの行事が減っていき、子ども同士のふれありの場が無くなっている現状。もっと教育に予算をかけることが、少子化政策に対応できる要素であると思います。したがって検討委員会を開くことのないようにしてほしい。
- なにより、先生の質や、日本教育の質が上がらないと、子供の将来のためにはならないから、統合の前に・・・と思いました。少人数に質の良い先生が一番良いかなと今は思っています。
- 来年度藤の沢小学校へ入学予定の子どもがいるが、同級生が少ない中で、気の合う友達ができるか強い不安を感じている。ある程度の人数がいたほうが安心感がある。
- 統合ではなく、通学区域を再編するという方法も検討して欲しい。